

平成26年度木津川市一般会計 補正予算第4号について（概要）

総務部財政課

平成26年度補正予算第4号は、台風11号及び8月豪雨により被災した施設の本復旧事業費や、国・府の制度改正、その他既定の予算の執行状況と事業の進捗状況を精査した上で、緊急性の高いものや次年度以降に備えた予算などを計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	271億	296万9,000円
補正額	6億5,048万1,000円	(2.4%増)
補正後	277億5,345万0,000円	

2 予算の内容

【主な歳入】

◎市税

固定資産税現年課税分 2億1,000万円増

◎国庫支出金

障害児施設措置費（給付費等）国庫負担金 2,144万7,000円増
 がんばる地域交付金 3,820万4,000円
 働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費国庫補助金 1,147万9,000円

◎府支出金

障害児施設措置費（給付費等）府負担金 1,072万4,000円増
 農地台帳システム整備事業費府補助金 183万6,000円
 農業用施設災害復旧事業費府補助金 324万5,000円増

◎寄附金	
ふるさと寄附金	65万3,000円増
教育費寄附金	200万円増
◎繰越金	
前年度繰越金	4億13万5,000円増
◎市債	
水道事業出資債	330万円
内水対策事業債	△3,950万円
農業用施設災害復旧事業債	170万円増

【主な歳出】

◎国・府の制度改正、施策の充実	
社会保障・税番号制度対応（基幹業務システム維持管理事業費）	98万1,000円増
不妊治療給付事業費	190万円増
農地台帳システム改修（農業委員会活動事業費）	183万6,000円
茶業振興対策事業費	559万3,000円増
◎事業の進捗状況から	
準用河川改修事業費	600万円増
恭仁小学校耐震補強工事	△701万6,000円
棚倉小学校校舎改築工事	900万円増
小中学校児童生徒学校行事等バス借上料（小学校教育振興事業費）	93万9,000円増
◎緊急事案対応	
本会議場マイク制御システム改修（議会運営事業費）	125万2,000円
◎次年度以降に備えて	
合併算定替逡減対策基金元金積立金	4億537万7,000円
木津学校給食センター管理運営事業費	848万6,000円増
◎災害復旧	
農業用施設災害復旧事業費	564万6,000円増

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	議会費	項	議会費	目	議会費
所 管	議会事務局					
事 業	2866	議会運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	17,141					17,141
補正額	1,252					1,252
補正後	18,393					18,393
補正予算額の 主な内訳	庁用備品購入費:1,252千円皆増 経年劣化に伴い、本会議場マイク制御システムの更新を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	議会運営が円滑に行えるよう、議会の庶務的な業務を行う。					
市民参加の 状況	インターネットを活用した議会ライブ中継・録画配信、会議録検索システム、議会だよりの発行等により議会活動の状況を公開する。					
将来にわたる 効果等						

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
所 管	市長公室 人事秘書課					
事 業	45	人事給与事務費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	5,818				4,108	1,710
補正額	990					990
補正後	6,808				4,108	2,700
補正予算額の 主な内訳	普通旅費:88千円増(178千円)、住宅借上料:902千円皆増 平成27年度から総務省へ職員を派遣するための準備経費(宿舍の契約及び着任前説明会への出席旅費)として、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	定員管理適正化計画に基づく職員数の管理、職員採用、給与事務等を行う。					
市民参加の 状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費
所 管	総務部 財政課					
事 業	73	基金管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	13,604				12,804	800
補正額	609,030				1,653	607,377
補正後	622,634				14,457	608,177
補正予算額の 主な内訳	財政調整基金元金積立金:202,000千円皆増 ※前年度決算剰余金の1/2以上 育英資金交付基金元金積立金:1,000千円皆増 ※指定寄附金の受領 木津川市ふるさと応援基金元金積立金:653千円増(654千円) ※9月末現在の寄附者:8人分 合併算定替通減対策基金元金積立金:405,377千円皆増 ※基金新設に伴う財源剰余金の積立 平成28年度以降の普通交付税の合併算定替の通減に伴う急激な市民サービスの低下を抑制し、持続可能な 財政運営を図るため、「木津川市合併算定替通減対策基金」を設置し、継続積立を行う。					
主な特定財源	ふるさと寄附金:653千円、育英資金交付事業寄附金:1,000千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	決算剰余金の財政調整基金への積立、基金運用による利子収入の基金への積立や事業への活用、あるいは 事業実施に際して特定目的基金が有効活用できるよう、寄附金や財産収入などを活用して積立を行う。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	電子計算費
所 管	市長公室 学研企画課					
事 業	209	基幹業務システム維持管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	141,979	24,261	4,999			112,719
補正額	981	981				
補正後	142,960	25,242	4,999			112,719
補正予算額の 主な内訳	社会保障・税番号制度中間サーバー利用負担金:981千円皆増 社会保障・税番号制度導入に伴い、国が整備する中間サーバーを利用するため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金:981千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	京都府・市町村共同開発システムなどの基幹系業務システムを安定的に稼働させ、行政運営の効率化を図る。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	障害者福祉費
所 管	保健福祉部 社会福祉課					
事 業	3554	障害児通所サービス事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間	平成25年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	134,510	66,991	33,495			34,024
補正額	42,893	21,447	10,724			10,722
補正後	177,403	88,438	44,219			44,746
補正予算額の 主な内訳	障害児通所サービス費:42,893千円増(176,877千円) 放課後等デイサービスなど当初見込と比べ利用増が見込まれることから、所要の補正を行う。					
主な特定財源	障害児施設措置費(給付費等)国庫負担金:21,447千円、障害児施設措置費(給付費等)府負担金:10,724千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	児童福祉法改正(平成24年4月1日施行)により、これまで障害種別で分かれていた障害児施設(障害者自立支援法の児童デイサービス含む)が障害児入所支援、障害児通所支援に一元化され、障害児通所支援については、実施主体が府から市へ移管された。					
市民参加 の状況						

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	保健福祉部 健康推進課					
事 業	1317	総合がん検診事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	137,696	6,828	610		2,992	127,266
補正額	852	7,989				△ 7,137
補正後	138,548	14,817	610		2,992	120,129
補正予算額の 主な内訳	通信運搬費:762千円増(6,778千円)、がん検診助成費:90千円増(226千円) がん検診推進事業として実施予定であった子宮頸がん及び乳がん検診が、働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業として、対象者を増やして実施することとなったため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	がん検診推進事業費国庫補助金(従来制度分):△3,490千円、働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費国庫補助金:11,479千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	がんの早期発見、早期治療によりがん死亡の減少に結びつくよう検診を実施する。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	母子衛生費
所 管	保健福祉部 健康推進課					
事 業	1377	不妊治療給付事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	4,868		2,434			2,434
補正額	1,900		950			950
補正後	6,768		3,384			3,384
補正予算額の 主な内訳	不妊治療給付費:1,900千円増(6,768千円) 当初見込みと比べ申請の増加が見込まれるとともに、10月診療分から府制度の対象者が拡大(男性不妊治療・不育治療)されることに伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	不妊治療給付事業費府補助金:950千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	衛生費	項	上水道費	目	上水道費
所 管	上下水道部 水道業務課					
事 業	3456	水道事業会計負担事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1,480					1,480
補正額	3,451			3,300		151
補正後	4,931			3,300		1,631
補正予算額の 主な内訳	児童手当給付負担金:132千円増(1,612千円) 水道事業会計出資金:3,319千円皆増 石綿セメント管耐震化事業に対する出資金(出資割合:事業費の1/4)					
主な特定財源	水道事業出資債:3,300千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	水道事業会計への負担金事業					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業委員会費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1517	農業委員会活動事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	8,901		1,729			7,172
補正額	1,836		1,836			
補正後	10,737		3,565			7,172
補正予算額の 主な内訳	電算システム変更委託料:1,836千円皆増 農地法改正に伴い農地台帳システム改修(法定記載事項の充足・出力、地図システム構築に必要なデータ出力等)を行う。					
主な特定財源	農地台帳システム整備事業費府補助金:1,836千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	農業の有効利用と担い手の育成、農地の利用集積の促進、耕作放棄地の解消、計画的な土地利用の推進、優良農地の確保を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1533	農業振興単費事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1,476		6		36	1,434
補正額	534					534
補正後	2,010		6		36	1,968
補正予算額の 主な内訳	普通旅費:305千円増(344千円)、通信運搬費:67千円皆増、広告料:162千円皆増 木津川市産農産物の食材利用を中心とした市の魅力発信事業として、東京駅八重洲南口に所在するレストランにおいて木津川市フェアを開催する。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	農業関係団体の事業を支援し、農業振興の活性化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1573	茶業振興対策事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	230					230
補正額	5,593		4,475			1,118
補正後	5,823		4,475			1,348
補正予算額の 主な内訳	茶業振興対策事業補助金:5,593千円増(5,813千円) JA京都やましろ加茂支店茶業部会防霜施設利用組合が瓶原地域において実施する茶園環境改善事業(防霜ファンの設置)に対して、補助を行う。(補助率:府4/10、市1/10)					
主な特定財源	茶業振興対策事業費府補助金:4,475千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	茶業経営の安定と茶の品質向上、出品茶事業の経費節減、省力化の推進					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 農政課					
事 業	1597	木津かんがい排水事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	13,750				1,500	12,250
補正額	5,000					5,000
補正後	18,750				1,500	17,250
補正予算額の 主な内訳	農業基盤整備促進事業補助金:5,000千円皆増 耐用年数を超える経年劣化と、昨年9月の台風18号豪雨及び今年8月の台風11号豪雨時の揚水機施設への土砂流入に伴い故障した、木津揚水1号ポンプを修繕するため、木津土地改良区に対して、補助を行う。(負担割合:国50%、府5%、市22.5%、土地改良区22.5%)					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	木津川の用水を6か所のため池及び直接農地へ供給することにより、現在使用されている農業用水の希釈水質改善を行い、農業の省力化と合理化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川維持費
所 管	建設部 管理課					
事 業	3523	内水対策事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間	平成23年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	130,680			39,500	64,000	27,180
補正額	34,700	9,804		△ 39,500	39,000	25,396
補正後	165,380	9,804			103,000	52,576
補正予算額の 主な内訳	内水対策工事費:34,700千円増(43,400千円) 木津合同樋門内水排除暫定施設(排水管)常設化工事について、国土交通省との施工区分協議が整ったことから、所要の補正を行う。					
主な特定財源	がんばる地域交付金:9,804千円、公共施設等整備基金繰入金:39,000千円、内水対策事業債:△39,500千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	内水対策として排水機の能力を増強する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1821	準用河川改修事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	34,664	8,000		14,400		12,264
補正額	6,000					6,000
補正後	40,664	8,000		14,400		18,264
補正予算額の 主な内訳	準用河川改修工事費:6,000千円増(37,000千円) 河川改修に伴い、河川内に存する農業用の取水施設を撤去し、ゴム引布製起伏堰に機能復帰を行い、正常に機能させ用水を貯留するためには、既設河川までの取り合いを整備することが必要となることから、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	河川流域内住民の安全と財産の保全のため、河川改修事業を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
所 管	総務部 危機管理課					
事 業	1929	消防施設管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	35,740			9,000		26,740
補 正 額	1,284					1,284
補 正 後	37,024			9,000		28,024
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	下水道接続工事費:1,284千円増(2,528千円) 消防団詰所の下水道接続工事について、当初3か所を予定していたが、新たに未接続施設が2か所(木1-2、木3-3)あることが判明したことから、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	迅速な消防活動及び消防団員の安全を確保する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3569	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成25年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	76		72			4
補 正 後	76		72			4
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	講師謝礼:30千円皆増(2名分)、消耗品費:40千円皆増、通信運搬費:6千円皆増 平成25年度に引き続いて、相楽台小学校において、土曜日を活用した教育の在り方について研究を行う。					
主 な 特 定 財 源	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費府委託金:72千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	新学習指導要領の全面实施や地域とのより積極的な連携推進など、新たな教育環境の変化に対応するため、土曜日を活用した効果的な教育活動の実施に向け、実践的・専門的な研究を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課		教育施設整備室			
事 業	2033	施設管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	576,413	68,831		244,400	221,460	41,722
補正額	△ 4,660	△ 6,028		△ 8,900	△ 29,000	39,268
補正後	571,753	62,803		235,500	192,460	80,990
補正予算額の 主な内訳	修繕料:2,000千円増(9,106千円) ※緊急修繕対応 事務機器移転業務委託料:△1,763千円皆減、電算機器移設委託料:△100千円皆減、工事監理委託料:△ 5,680千円皆減、耐震補強工事費:△7,016千円減(105,048千円) ※恭仁小学校耐震補強工事(工期見直し等 による) 解体工事費:△1,101千円減(9,494千円) ※梅美台小学校仮設校舎解体工事(事業費の確定による) 校舎改築工事費:9,000千円増(268,500千円)※棚倉小学校校舎改築工事(設計見直し等による)					
主な特定財源	公立学校施設整備費国庫負担金:609千円、学校施設環境改善交付金:△6,637千円、公共施設等整備基金繰 入金:△29,000千円、小学校耐震補強事業債:△8,900千円					
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	小学校教育施設の修繕、改修及び建設等を行う。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課		教育施設整備室			
事 業	2157	施設管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	14,730				240	14,490
補正額	1,000					1,000
補正後	15,730				240	15,490
補正予算額の 主な内訳	修繕料:1,000千円増(5,122千円) ※緊急修繕対応					
主な特定財源						
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	中学校教育施設の修繕、改修及び建設等を行う。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2354	中央図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	27,143				70	27,073
補正額	447				340	107
補正後	27,590				410	27,180
補正予算額の 主な内訳	修繕料:107千円増(348千円) 図書等購入費:340千円増(7,040千円) 指定寄附金の受領に伴い、寄附者の意向により、中央図書館図書の充実を図る。					
主な特定財源	社会教育指定寄付金:340千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2355	加茂図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	14,308				2	14,306
補正額	330				330	
補正後	14,638				332	14,306
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:330千円増(4,080千円) 指定寄附金の受領に伴い、寄附者の意向により、加茂図書館図書の充実を図る。					
主な特定財源	社会教育指定寄付金:330千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2356	山城図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	12,396				560	11,836
補正額	330				330	
補正後	12,726				890	11,836
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:330千円増(4,630千円) 指定寄附金の受領に伴い、寄附者の意向により、山城図書館図書の充実を図る。					
主な特定財源	社会教育指定寄付金:330千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2494	木津学校給食センター管理運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	79,601					79,601
補正額	8,486					8,486
補正後	88,087					88,087
補正予算額の 主な内訳	消耗品費:4,910千円増(11,796千円)、燃料費:813千円増(10,654千円)、修繕料:1,351千円増(5,542千円)、施設用備品購入費:1,412千円増(2,168千円) 経年劣化及び食数増加に対応するため、丸型食管を角型二重保温食管へと切り替えるなど調理器具の更新を行うとともに、来年度からの業務委託へ向け、円滑に移行するための整備もあわせて行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	給食環境の整備を進め、学校給食を生きた教材として食育の推進を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	災害復旧費	項	農林水産業施設災害復旧費	目	農業用施設災害復旧費
所 管	建設部 農政課					
事 業	2501	農業用施設災害復旧事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	93,182		82,946	8,100		2,136
補正額	5,646		3,245	1,700		701
補正後	98,828		86,191	9,800		2,837
補正予算額の 主な内訳	事業費支弁需用費:146千円増(474千円)、農業用施設災害復旧工事費:5,500千円(95,500千円) 平成26年台風11号及び8月豪雨により被災した農業用施設の災害復旧工事を行う。 施工箇所:北下手農道(台風11号豪雨災害)、銭司農道・観音寺北谷水路(8月豪雨災害)					
主な特定財源	農業用施設災害復旧事業費府補助金:3,245千円、農林水産業施設災害復旧事業債:1,700千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	被災した農林水産業施設の迅速な復旧及び再度の災害を防止する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	公債費	項	公債費	目	元金
所 管	総務部 財政課					
事 業	2521	地方債償還元金				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	2,522,371				17,259	2,505,112
補正額	3,697					3,697
補正後	2,526,068				17,259	2,508,809
補正予算額の 主な内訳	長期債元金:3,697千円増(2,526,068千円) 10年利率見直しによる元金の増					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	公債費負担の適正化及び平準化を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第4号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	公債費	項	公債費	目	利子
所 管	総務部 財政課					
事 業	2525	地方債償還利子				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	409,982					409,982
補 正 額	△ 18,800					△ 18,800
補 正 後	391,182					391,182
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	長期債利子: △18,800千円減(391,182千円) 平成25年度債等の借入利率決定などによる不用額の減					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	公債費負担の適正化及び平準化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正第4号 債務負担行為補正の概要

1. 追加

事 項	期 間	限 度 額	内 容
障害者施設整備工事設計費 (社 会 福 祉 課)	平成26年度～平成27年度	1,200千円	障害児の放課後等デイサービス事業及び障害者就労継続支援B型事業のための施設整備に係る加茂支所庁舎3階改修工事設計費
当尾の郷会館改修工事設計費 (社 会 教 育 課)	平成26年度～平成27年度	1,890千円	当尾の郷会館活用のための施設改修に係る工事設計費
棚倉小学校校舎改築事業 (教 育 施 設 整 備 室)	平成26年度～平成27年度	923,100千円	校舎改築工事費:895,000千円、工事監理委託料:28,100千円 ※ 既存校舎の解体及び外構工事に係る経費は含まない。

2. 廃止

事 項	期 間	限 度 額	内 容
棚倉小学校改築事業 (教 育 施 設 整 備 室)	平成26年度～平成27年度	891,200千円	校舎改築工事費:865,000千円、工事監理委託料:26,200千円 ※ 既存校舎の解体及び外構工事に係る経費を含む。

3. 変更

事 項	期 間	限 度 額	内 容
恭仁小学校耐震事業 (教 育 施 設 整 備 室)	変更前 平成26年度～平成27年度	304,050千円	耐震補強工事費:280,160千円、工事監理委託料:18,940千円、事務機器移転業務委託料:4,950千円
	変更後 平成26年度～平成28年度	375,450千円	耐震補強工事費:350,160千円、工事監理委託料:20,340千円、事務機器移転業務委託料:4,950千円